

相模川で採集されたサツキハゼ

勝呂尚之・相澤 康・瀬能 宏

Naoyuki Suguro, Yasushi Aizawa and Hiroshi Senou :
A New Record of *Parioglossus dotui* (Perciformes, Gobiidae) from the
Sagami River

サツキハゼ属魚類 *Parioglossus* (スズキ目ハゼ科) は、日本から10種が報告されており (鈴木ほか, 1994), 神奈川県下では、サツキハゼ *P. dotui* Tomiyama が海域 (金沢湾: 工藤ほか, 1986; 三浦半島南西部沿岸: 工藤・岡部, 1991) と河口域 (堀割川河口: 工藤ほか, 1986; 多摩川河口: 東京都環境保全局水質保全部編, 1988), また、ベニツケサツキハゼ *P. philippinus* (Herre) が海域 (早川漁港: 鈴木・瀬能, 1991) から記録されている。

今回、相模川の河口域において、サツキハゼ (図1・2) が採集され、これは同河川からはもちろん、相模湾流入河川からの初記録になるので、ここに簡単に記録しておく。

1996年10月26日に、相模川の河口付近 (湘南大橋付近) において、群泳する小魚を発見、手網で捕獲を試みたところ、3個体を採集することができた。これらの個体は、鈴木ほか (1994) により、体形や色彩からサツキハゼに同定され、生時の状態を記録するために水槽内での撮影を行った (図1・2)。また、麻酔後に体長、全長、体重を測定し、通常の飼育水槽で飼育を試みたところ、すべて死亡し、内1標本 (体長23.0 mm) を神奈川県立生命の星・地球博物館魚類資料KPM-NI4175として登録した。体長ほかの測定結果と、KPM-NI4175の外部形態の概要について以下に記載する。計測には電子ノギス (0.01 mm) とマイクロメータを用いた。

なお、生時の写真については、同館魚類写真資料データベースにKPM-NR22353として登録した。

全長・体長・体重

KPM-NI4175: 体長23.0mm, 全長27.0mm, 体重0.13g; 体長25.0mm, 全長30.0mm, 体重0.18g (図1); 体長19.0mm, 全長23.0mm, 体重0.12g (図2)。

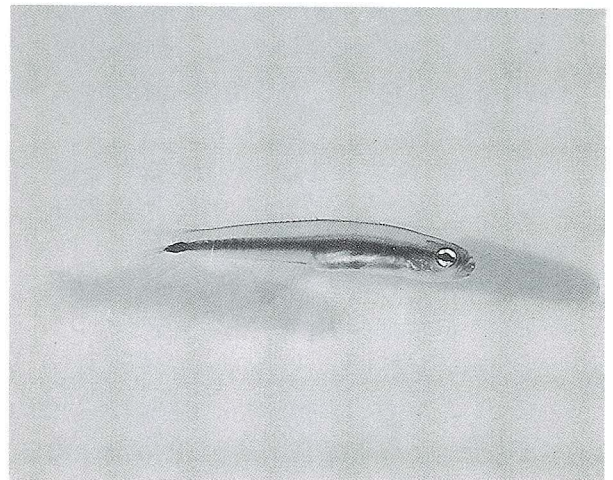


図1 サツキハゼ *Parioglossus dotui*, 25.0 mm SL, from Sagami River, Kanagawa Pref. Photo by N. Suguro.

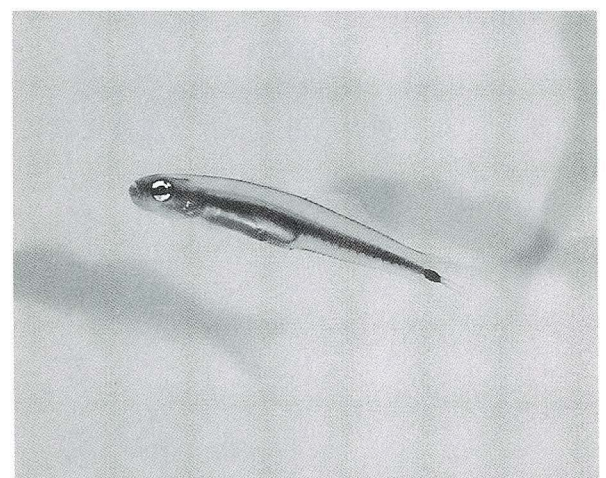


図2 サツキハゼ *Parioglossus dotui*, 19.0 mm SL, Sagami River, Kanagawa Pref. Photo by N. Suguro. (神奈川県立生命の星・地球博物館画像資料番号 KPM-NR22353)

サツキハゼの記載

背鰭6棘－1棘18軟条，臀鰭1棘17軟条，胸鰭19軟条，腹鰭1棘4軟条，尾鰭分岐鰭条数7＋6。

全長121.1%（体長に対する百分率，以下同様），頭長21.3，吻長4.5，眼径6.5，上顎長6.1，臀鰭起部における体高15.8，尾柄長11.1，尾柄高8.9，背鰭第5棘長7.7，腹鰭第3軟条長11.3。

備考

相模川の魚類相については，これまでも精力的に調査が行われているが（例えば長峯・浜口，1980；浜口，1982；工藤・松田，1983；工藤，1984；浜口・長峯，1987；安藤，1995 & 1996），サツキハゼは記録されていない。今回の記録は，同河川からはもちろん，相模湾流入河川からの同種の初記録となる。

しかし，サツキハゼをはじめとするサツキハゼ属の魚は，小型で敏捷だけでなく，上げ潮時には摂餌のために活発に中層を遊泳するが，干潮時にはカキ殻などの隙間で休息するため，投網を用いた通常の魚類調査では見落とされ易い。

瀬能(1989)によれば，サツキハゼは河口に多いとされているので，同様な環境に生息する同属のベニツケサツキハゼ(瀬能・鈴木，1991)とともに，県内河川の河口域に広く分布している可能性があり，分布の詳細や河川への遡上距離などの生息状況については，上げ潮時の潜水観察を取り入れるなど，手法を工夫した上で今後調査を進める必要がある。

引用文献

- 安藤 隆，1995. 相模川魚類生息状況調査—I. (要旨). 生息魚種と分布. 神奈川淡水試報, (31): 33-38.
- 安藤 隆，1996. 相模川魚類生息状況調査—II. (要旨). 生息魚種と分布2. 神奈川淡水試報, (32): 20-26.
- 浜口哲一，1982. 相模川中下流域の魚類相. 平塚市博物館研究報告書, (5): 35-48.
- 浜口哲一・長峯嘉之，1987. 相模川中下流域魚類相への追加と訂正. 平塚市博物館研究報告書, (10): 1-8.
- 工藤孝浩，1984. 相模川水系の魚類—第2報—. 神奈川自然保全研究会報告書, (3): 32-42.
- 工藤孝浩・鴨川宗洋・伊藤俊弘，1986. 横浜市沿岸域の魚類相. 横浜の川と海の生物4, pp. 181-225. 横浜市公害対策局水質課, 横浜.
- 工藤孝浩・松田拓也，1983. 相模川水系の魚類. 神奈川自然保全研究会報告書, (2): 28-36.
- 工藤孝浩・岡部 久，1991. 三浦半島南西部沿岸の魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 29-37.
- 長峯嘉之・浜口哲一，1980. 相模川汽水域の魚類相. 平塚市博物館研究報告, (3): 21-32, pls. 1-4.
- 瀬能 宏，1989. サツキハゼ. 川那部浩哉・水野信彦編・監修, 山溪カラー名鑑: 日本の淡水魚, pp. 561 & 564. 山と溪谷社, 東京.
- 鈴木寿之・瀬能 宏，1991. 日本初記録のベニツケサツキハゼ(新称). *I. O. P. Diving News*, 3(1): 4-5.
- 鈴木寿之・瀬能 宏・藍澤正宏，1994. 西表島で採集された日本初記録のサツキハゼ属魚類3種. *I. O. P. Diving News*, 5(9): 2-6.
- 東京都環境保全局水質保全部編，1988. 魚類. 昭和61年度水生生物調査結果報告書, pp. 100-121. 東京都.
- (勝呂・相澤：神奈川県水産総合研究所，瀬能：神奈川県立生命の星・地球博物館)